

# すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ?

T I M E S ' 1 7

平成29年9月6日発行

発行元:塾熟出版(事務局)

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317 -6621 FAX 3317 -6620

第4号

## GENERATION LAB

- コノ時代ヲ解説セヨ -

8月2日

受講生 22名



調べ方「図書館」篇

ゲスト講師：佐川 祐子氏

今回は杉並区立中央図書館の職員である、佐川祐子氏をお迎えして、いつもと場所を変えて、前半を中央図書館で、図書館の閉館時間の関係から後半を荻窪体育館会議室にて開催した。

### ◇図書館にて◇

図書館について簡単な説明のあと、図書館に所蔵されている本の分類法についての説明があった。今、杉並の図書館で採用しているのは、「日本十進分類法」。図書館によって、採用している分類法が違う場合もあるようだ。

図書館の本の背ラベルで、その本がどの書架にあるかがわかるという。

### ◇ワークショップ◇

学んだ分類法をふまえ、4つの班に分かれて、テーマに沿った本を集めてくるワークショップ。狙いは、①いつも足を運ばない本棚へ行って見て本を見てもらうこと、②1つのテーマでも様々な分類の中に関係している本があるので、調べる本が幅広い分野にあることを体感してもらうこと、だった。

### 《ワークショップの様子》

今回のテーマは、「色」「いのち」「米」「花」の4つ。各班とも様々な角度から与えられたテーマに関する本を探していた。1人で何冊も抱えて、探してきた方が多かった。その後、各班でなぜその本を選んだか発表していった。

### ◇体育館会議室にて◇

ここでは、図書館のレファレンスサービスについて学んだ。図書館は本を所蔵・管理しているだけでなく、図書や情報を探すお手伝いもしている。窓口で直接対応もしてくれるし、WEBでも対応してくれている。大事なものは「何を知りたいかをはっきりすること」。調べたい本が見つからないときは、こうしたサービスを活用してみるとよいとわかった。

前回のインターネット検索に続き、本で調べる方法を学んだ。参加者からは、「調べものをする時はネットでの検索をまぜやってしまうが、本で調べるのとどちらの情報信じられるのか…」という質問があった。これは多くの皆さんが疑問に思ったことではないだろうか。佐川氏によると、ネット検索は誰かが入力したものしか表示されないこと、誰でも気楽に入力できることが特徴。一方で本の場合は多くの人がかかわり編集作業を重ねてから出版しているので、間違った情報であることはネットに比べれば少ないとのこと。今では図書館もWEBレファレンス、リサーチナビなどネット経由での活用もできるので、偏らず、幅広くかつ自分の欲しい情報を得るようにしていけたらと思う。お休みの日にでも、図書館にじっくり行ってみるのもよいのではないだろうか。

## 第6回 Mission 1 のまとめ

8月23日  
受講生 23名



8月23日は、【Mission1「調べ方」を調べよう！】のまとめ。今後の総合コースの流れを確認しつつ、様々な講師の方をお迎えし開催してきたMission1を振り返っていった。

伊藤さんから

総合コースの流れは次の通り。

Mission 1 (知る) → Mission 2 (問う) → Mission 3 (作る)

Mission 1 では、図書館篇、インターネット篇、アカデミック篇、ジャーナリスト篇と実施してきたが、今後私たちが(問う)(作る)に進んでいくときに押さえておきたいポイントの再確認があった。また、論理的な思考を深めるために、2つの考え方も新たに紹介していただいた。

「<sup>えんえきほう</sup>演繹法と<sup>きのうほう</sup>帰納法」→演繹法：一般的原理や事実から1つ1つのことがらを推論すること。

例) 鳥は卵から生まれるので、ペンギンも卵から生まれるだろう。

帰納法：1つ1つの具体的なことがらから一般的原理を引き出すこと。

例) 毎回のテストで数学の点がいいことから、自分は数学が得意だ。

「MECE」→Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive :互いに・モレがなく

全体に・ダブリがなく

リサーチ課題 (次回9/6の大人塾までです。)

問い:「今みなさんが気になっていることは何ですか? その気になっていることを、いつもより少しだけ深く調べてみましょう。」

(例) ・気になるニュース記事を複数のメディアで比較。

・気になるニュースを情報・解説・批評のどれにあたるか分類してみる。

・「今振り返ってみると」と思うニュースは何か。

未来がわかっている現在からニュースを見直してみる。

・気になっている評論の構造をとらえてみる。

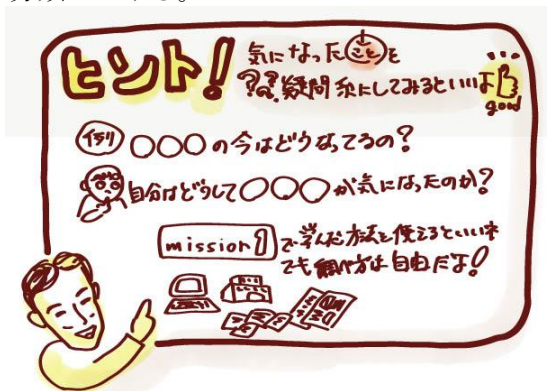
・関心のある統計/グラフを読み解いてみる。

今回を振り返って

メディアは、たくさんの映像の中から情報を編集しているが、事実の側面を切り取ることはできない。またその映像は切り

取ることでイメージを作っている。私たちはそのメディアが切り取ったイメージ映像で様々な事を判断しているのだ。特に最近の映像は無音で流ることがないので、そのBGMによって印象が大きく左右されることもある。実際の映像を見比べることで実感できた。メディアは、「言葉にできないことを絵にしている」というお話が印象的だった。

さあ、Mission 2で、さらに言葉に意識を向けていきましょう!



(受講生 平井さん作成)

〇すぎなみ大人“熟”してる?の発行にあたって〇 この新聞は事務局スタッフの視点と記録に基づいて作成しております。